

放射線科

1. 一般的項目:

PETの件数

▶ 項目の解説

PET/CT検査は、大学病院における高度のがん診療に欠かせない診断方法であり、大学のがん診療の充実度を示す良い指標です。

▶ 定義

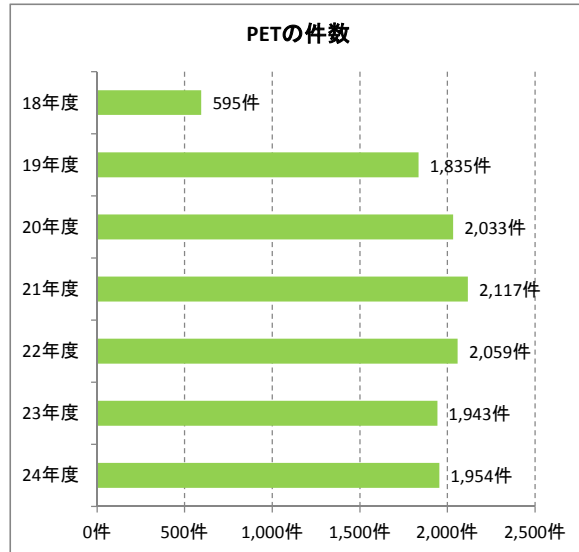
年間のPET/CT検査件数です。

コメント

順調に推移してきたが、①担当医の病欠、②病棟改修工事のため若干減少しています。
機器の能力の点で現状におけるPET検査の上限に達しています。検査数の増加を目指して施設改修を予定しています。

単位

件



甲状腺癌のI131内用治療件数

▶ 項目の解説

甲状腺癌の全摘術後の治療法です。宮崎県内では事実上、当院が唯一この治療を行っています。
甲状腺癌の治療に大学病院が貢献している良い指標です。

▶ 定義

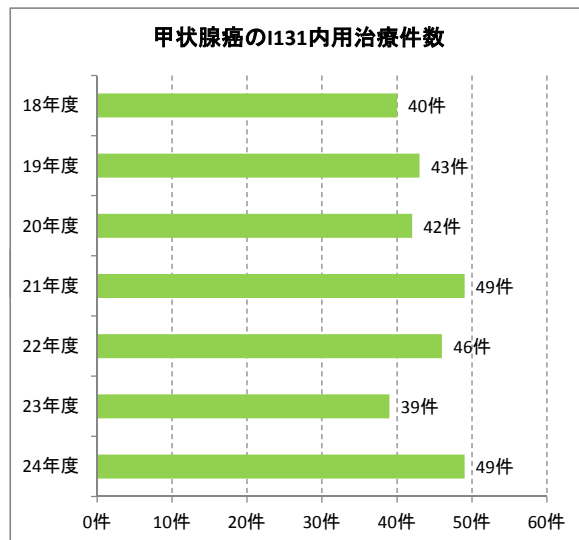
年間の甲状腺癌のI131内用治療件数です。

コメント

順調に推移してきたが、①担当医の病欠のため、②病棟改修工事のため、全体の患者数が減少しています。現状における治療数の上限に達しており、治療数増加を目指して施設改修を予定しています。

単位

件



2. 大学病院特有項目:放射線治療の件数(大学病院しかでき難いものとしてIMRT, 全身照射などを含んで)

▶ 項目の解説

放射線治療は機能と形態を温存できる癌の治療法として、このところ重要性が富に増えています。放射線治療には高額な機器と極めて専門性の高い放射線専門医が必要です。特に最近では、IMRTなど他の病院では実施できない治療法も手がけており、癌治療の充実の指標として適しています。

▶ 定義

年間の放射線治療の件数です。

コメント

順調に推移しています。
平成20～21年は治療装置の入替工事のため減少しました。平成23年度は①治療法がIMRTに移行し、その件数が増加してきた、②病棟改修工事のため、対象となる患者数が減少したことが考えられます。
IMRTは治療計画に手間と時間がかかり、これが増えると一般の治療が減少する傾向にあるため、総治療件数ではなく一般の治療とIMRTを別個に評価すべきと考えています。

単位

件

